

平成 19 年度 第 2 次試験 【事例】

与件を活用した解答例

第 1 問 (配点 25 点)

問題点

(a)	売上総利益率	(b)	22.00%
(c)	問題点の原因は、D 社製品の取扱薬局が大手ドラッグストアの進出やインターネット販売等の普及によって減少していることである。		

問題点

(a)	有形固定資産回転率	(b)	4.23 回
(c)	問題点の原因は、早急に基礎化粧品に関する新製品開発が求められているにも関わらず、そのための設備投資が進まないことである。		

問題点

(a)	流動比率	(b)	175.47%
(c)	問題点の原因は、新製品開発や設備への投資負担が決して軽いものではないにも関わらず、有価証券へ資金を投入していることである。		

第 2 問 (配点 25 点)

(設問 1)

(a)	変動費率 50%	(b)	固定費 1,285 百万円
-----	----------	-----	---------------

(設問 2)

D 社が	経営政策をこのまま続けると、変動費率は一定のため、売上高の減少に伴い、固定費を賄いきれず営業赤字に陥る状況になる。
------	---

第 3 問 (配点 25 点)

(設問 1)

35 百万円

(設問 2)

D 社は、19 年度期末に研究開発への着手を行い、製造方法 X の結果となった場合は設備投資を行うべきである。

第 4 問 (配点 25 点)

(設問 1)

留意すべき点は、委託先に対して情報管理の管理体制を明確化すると共に、顧客に対して個人情報利用目的等を明示することである。
--

(設問 2)

有形固定資産から無形固定資産へ、売上原価から販売費・一般管理費へと構造が変化する。
